

健康起因事故防止に係る取組に関する アンケート調査結果について

令和4年度 事業用自動車健康起因事故対策協議会

【調査目的】

主要疾病の早期発見に有効と考えられるスクリーニング検査の普及を検討するため、事業者における普及状況や課題等を把握する。

【調査内容】

1. 調査対象事業者概要
2. 国土交通省のマニュアル・ガイドラインの認知度について
3. SAS(睡眠時無呼吸症候群)スクリーニング検査について
4. 脳血管疾患スクリーニング検査(脳健診)について
5. 心臓疾患・大血管疾患スクリーニング検査について
6. 視野障害スクリーニング検査について

【回答事業者】

自動車運送事業者(バス・タクシー・トラック)を対象とし、各業界団体に協力を依頼し、会員事業者に対してWebアンケート調査を実施。

※Web形式での調査は令和2年度から

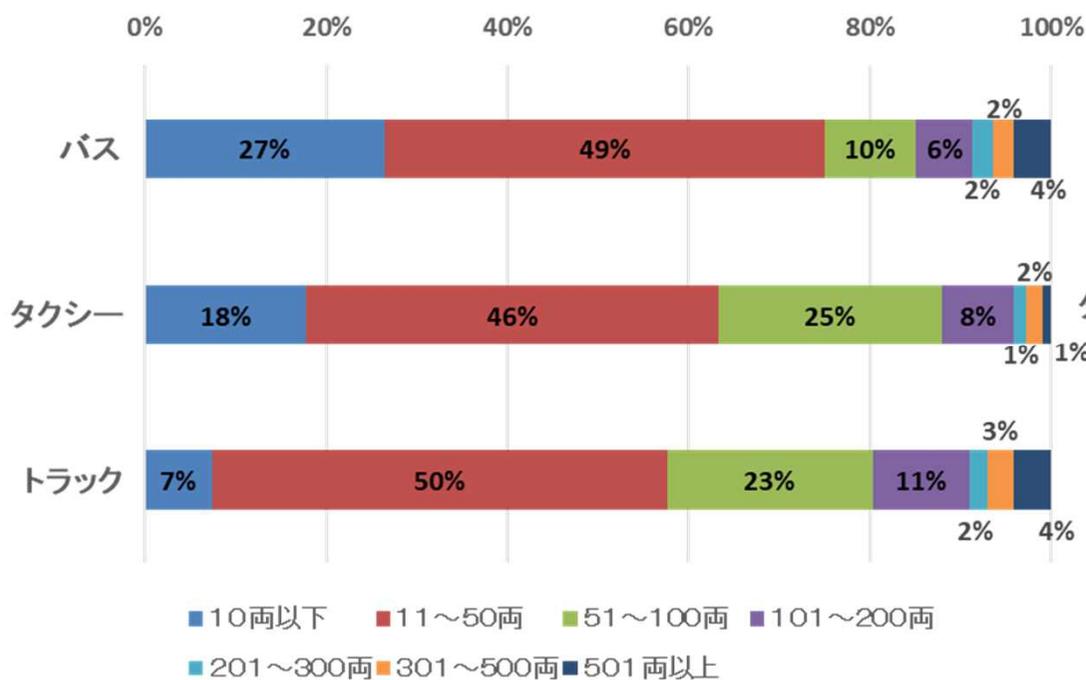
1. 調査対象事業者概要

●調査対象事業者数

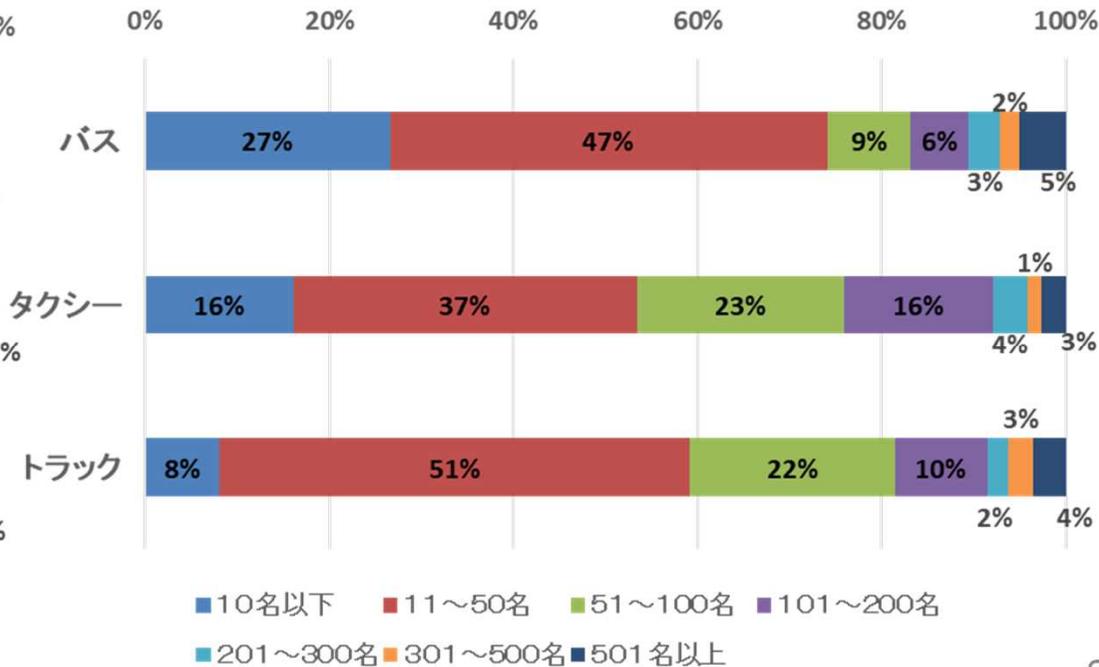
| | H29年度 | H30年度 | R1年度 | R2年度 | R3年度 | R4年度 |
|------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| バス | 311 | 324 | 266 | 630 | 627 | 437 |
| タクシー | 443 | 355 | 303 | 494 | 524 | 292 |
| トラック | 319 | 487 | 452 | 407 | 337 | 309 |
| 合計 | 1073 | 1,166 | 1,021 | 1,531 | 1,488 | 1,038 |

※H29～R1は紙形式、R2～R4はWeb形式でアンケート調査を実施
 ※回答事業者は毎年異なる。

●調査対象事業者の保有車両数(割合)



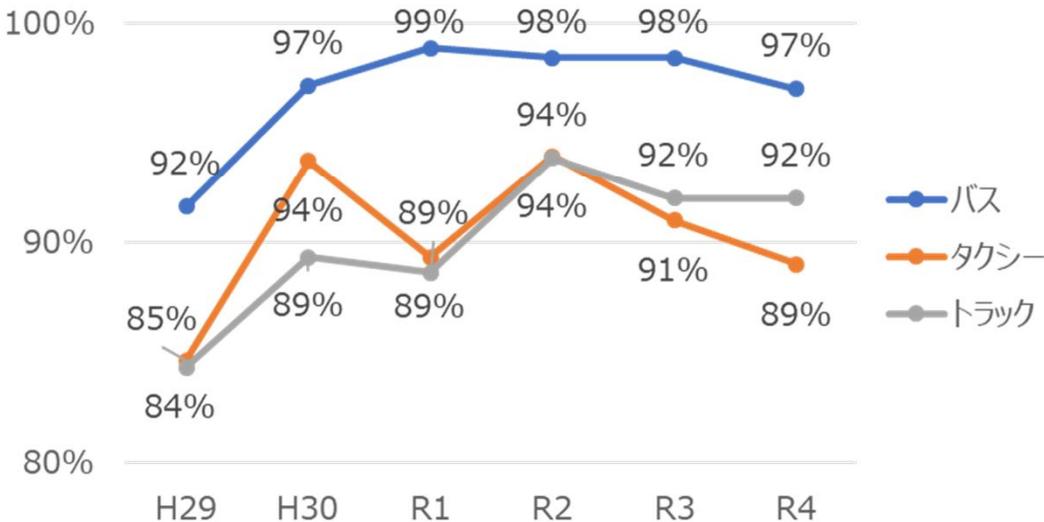
●調査対象事業者の運転者数(割合)



2. 国土交通省のマニュアル・ガイドラインの認知度について

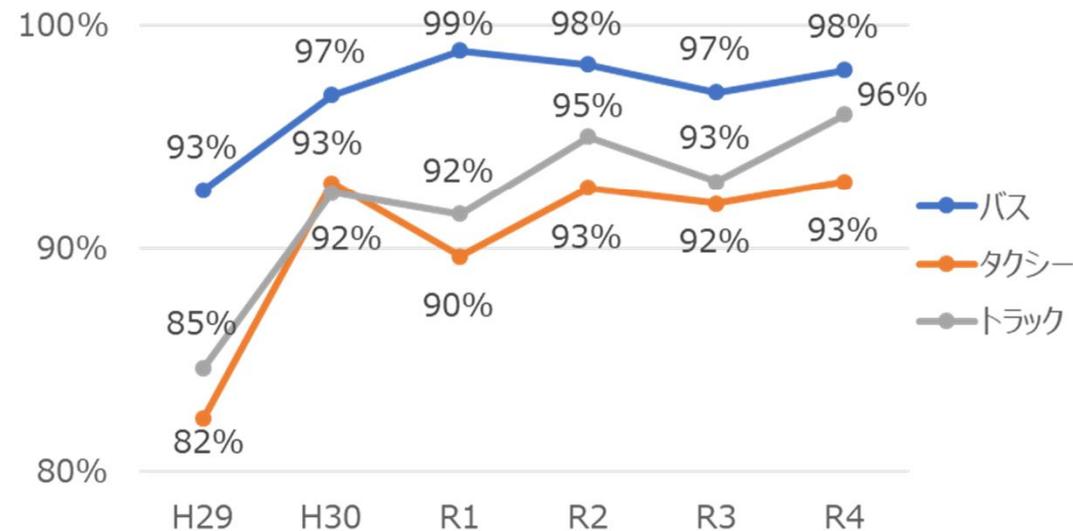
●健康管理マニュアルの認知度

※平成22年7月策定(平成26年4月改訂)



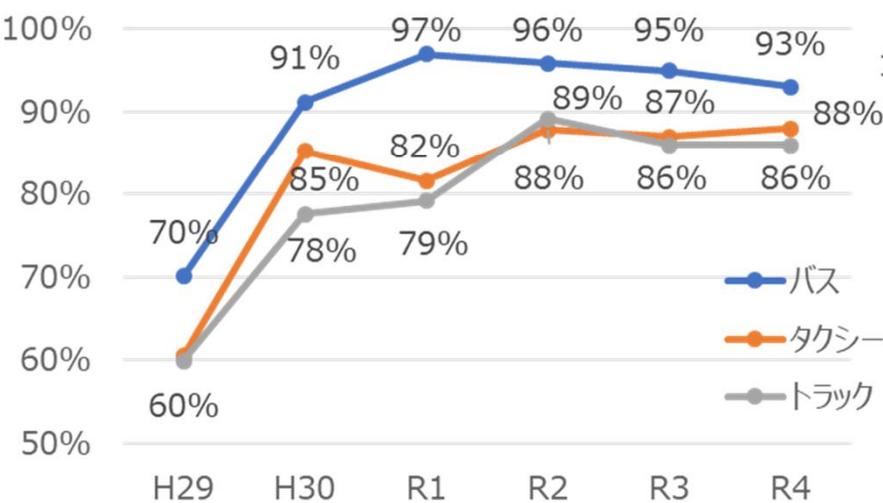
●SAS対策マニュアルの認知度

※平成15年3月策定(平成27年8月改訂)



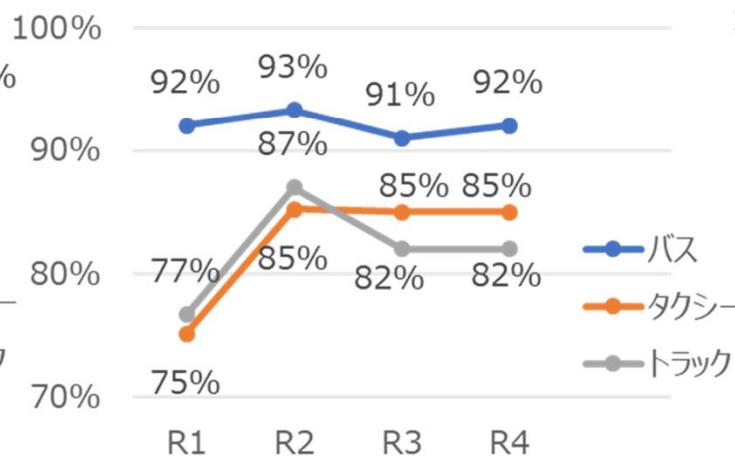
●脳血管疾患対策ガイドラインの認知度

※平成30年2月策定



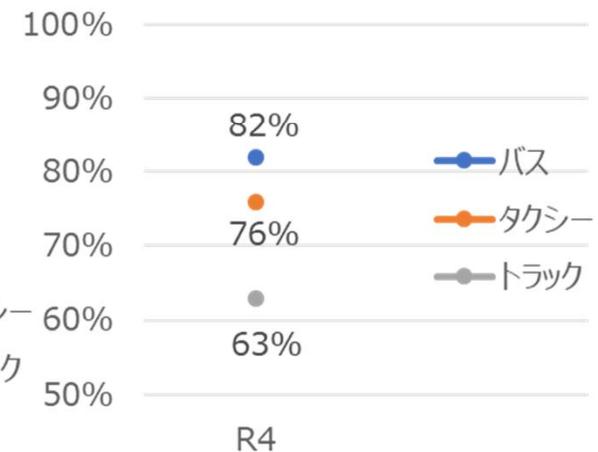
●心臓疾患・大血管疾患対策ガイドラインの認知度

※令和元年7月策定



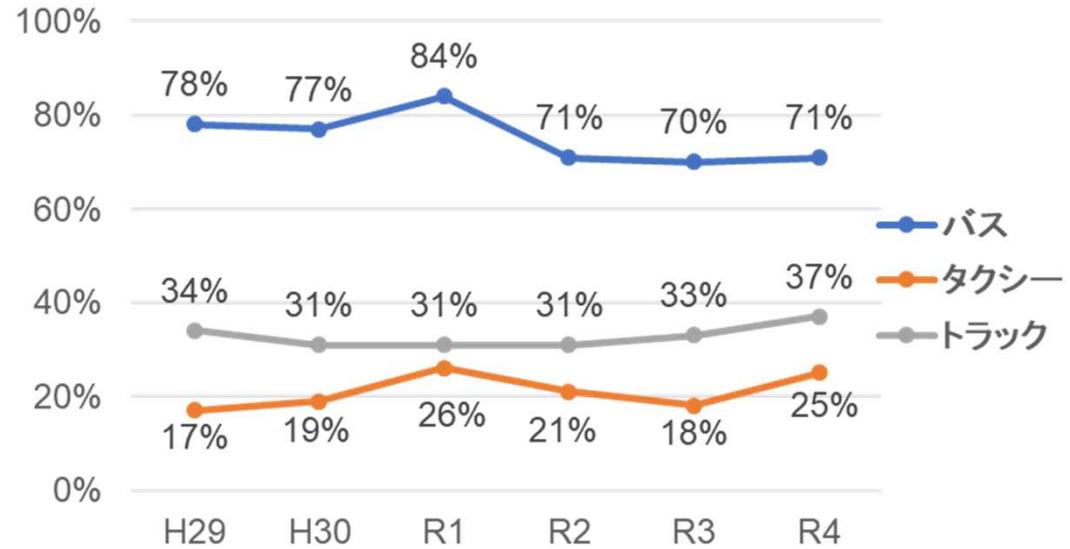
●視野障害対策マニュアルの認知度

※令和4年3月策定



●スクリーニング検査を受診させている

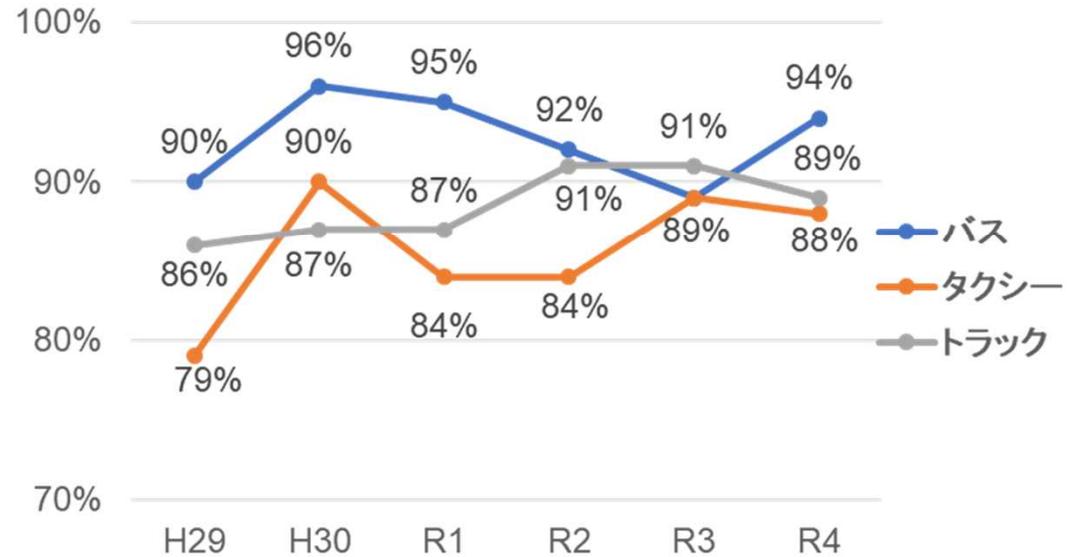
| | H29年度 | H30年度 | R1年度 | R2年度 | R3年度 | R4年度 |
|------|-------|-------|------|------|------|------|
| バス | 78% | 77% | 84% | 71% | 70% | 71% |
| タクシー | 17% | 19% | 26% | 21% | 18% | 25% |
| トラック | 34% | 31% | 31% | 31% | 33% | 37% |



(スクリーニング検査を受診させていない場合)

●スクリーニング検査の必要性を感じている

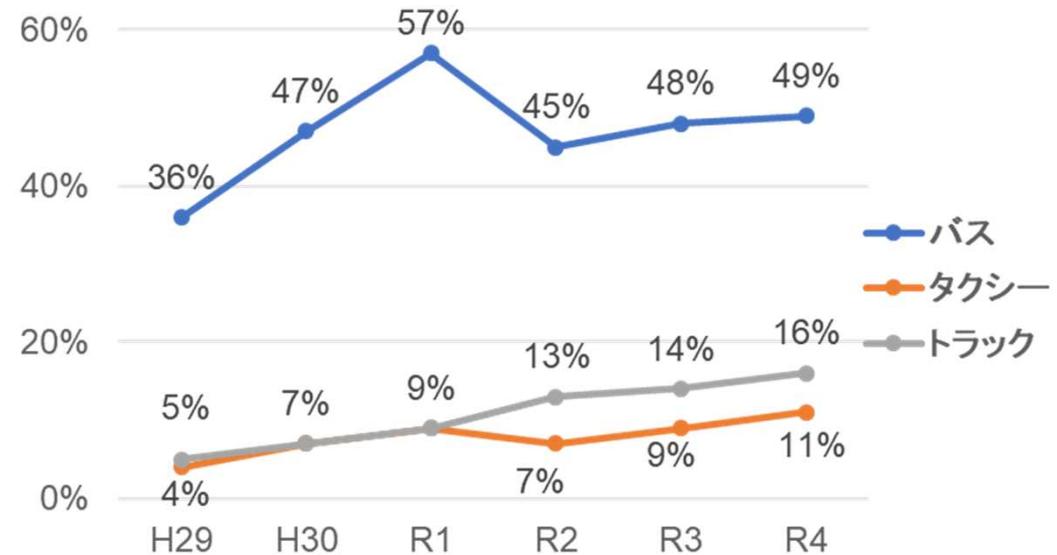
| | H29年度 | H30年度 | R1年度 | R2年度 | R3年度 | R4年度 |
|------|-------|-------|------|------|------|------|
| バス | 90% | 96% | 95% | 92% | 89% | 94% |
| タクシー | 79% | 90% | 84% | 84% | 89% | 88% |
| トラック | 86% | 87% | 87% | 91% | 91% | 89% |



4. 脳血管疾患スクリーニング検査について

●スクリーニング検査を受診させている

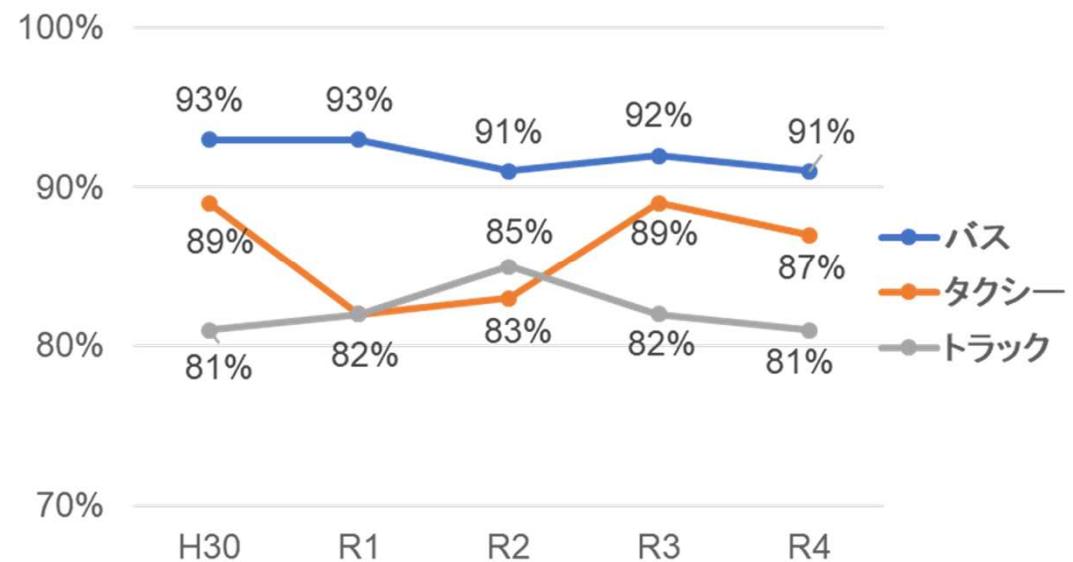
| | H29年度 | H30年度 | R1年度 | R2年度 | R3年度 | R4年度 |
|------|-------|-------|------|------|------|------|
| バス | 36% | 47% | 57% | 45% | 48% | 49% |
| タクシー | 4% | 7% | 9% | 7% | 9% | 11% |
| トラック | 5% | 7% | 9% | 13% | 14% | 16% |



(スクリーニング検査を受診させていない場合)

●スクリーニング検査の必要性を感じている

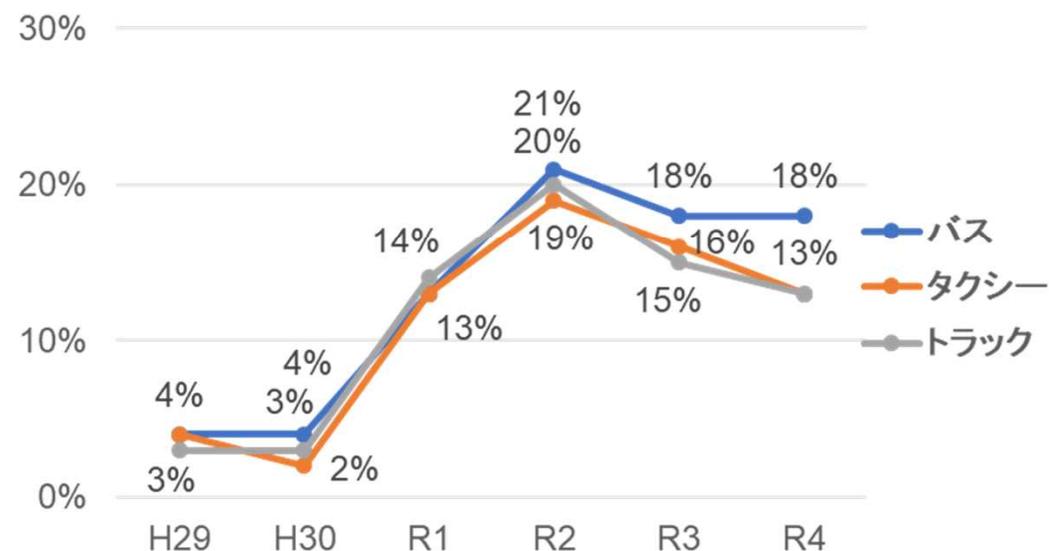
| | H29年度 | H30年度 | R1年度 | R2年度 | R3年度 | R4年度 |
|------|-------|-------|------|------|------|------|
| バス | 88% | 93% | 93% | 91% | 92% | 91% |
| タクシー | 81% | 89% | 82% | 83% | 89% | 87% |
| トラック | 81% | 81% | 82% | 85% | 82% | 81% |



5. 心臓疾患・大血管疾患スクリーニング検査について

●スクリーニング検査を受診させている

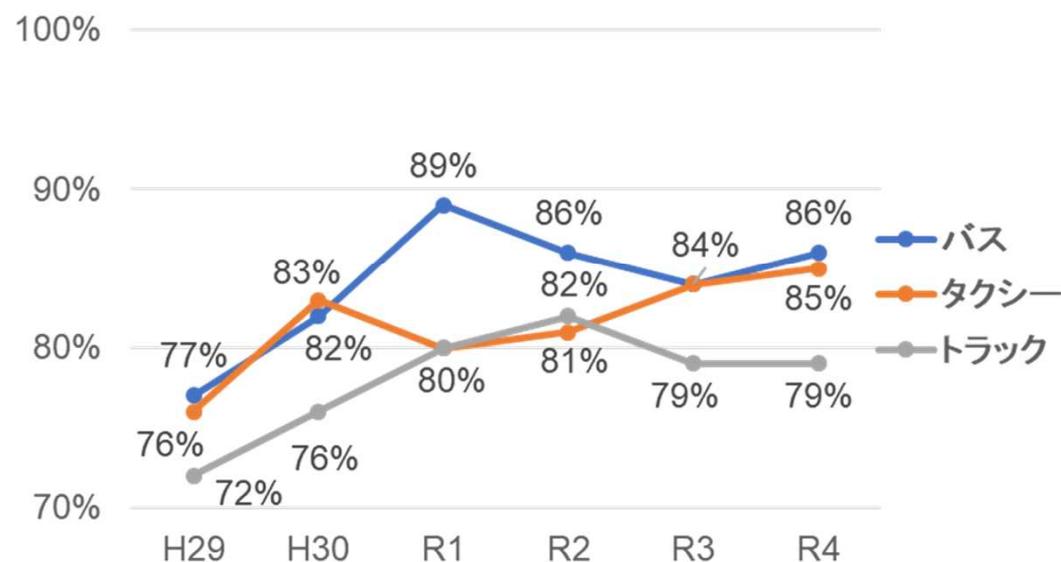
| | H29年度 | H30年度 | R1年度 | R2年度 | R3年度 | R4年度 |
|------|-------|-------|------|------|------|------|
| バス | 4% | 4% | 13% | 21% | 18% | 18% |
| タクシー | 4% | 2% | 13% | 19% | 16% | 13% |
| トラック | 3% | 3% | 14% | 20% | 15% | 13% |



(スクリーニング検査を受診させていない場合)

●スクリーニング検査の必要性を感じている

| | H29年度 | H30年度 | R1年度 | R2年度 | R3年度 | R4年度 |
|------|-------|-------|------|------|------|------|
| バス | 77% | 82% | 89% | 86% | 84% | 86% |
| タクシー | 76% | 83% | 80% | 81% | 84% | 85% |
| トラック | 72% | 76% | 80% | 82% | 79% | 79% |

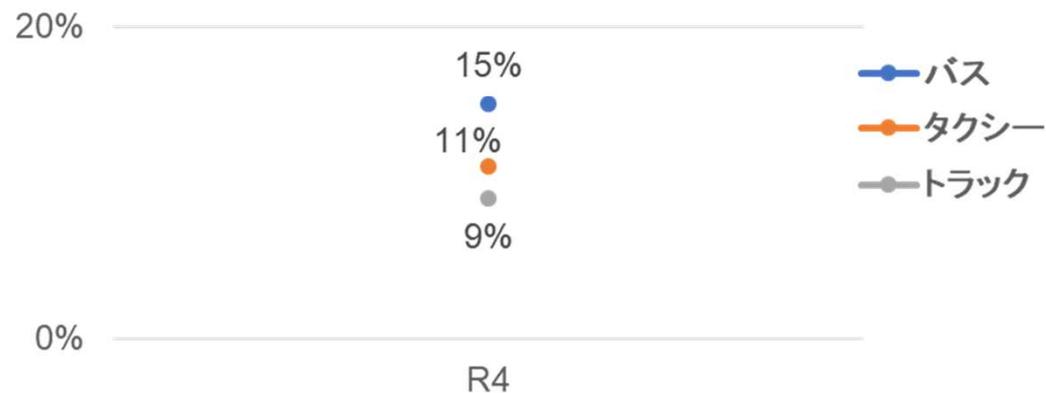


6. 視野障害スクリーニング検査について

●スクリーニング検査を受診させている

※令和4年度より設問を追加

| | R4年度 |
|------|------|
| バス | 15% |
| タクシー | 11% |
| トラック | 9% |

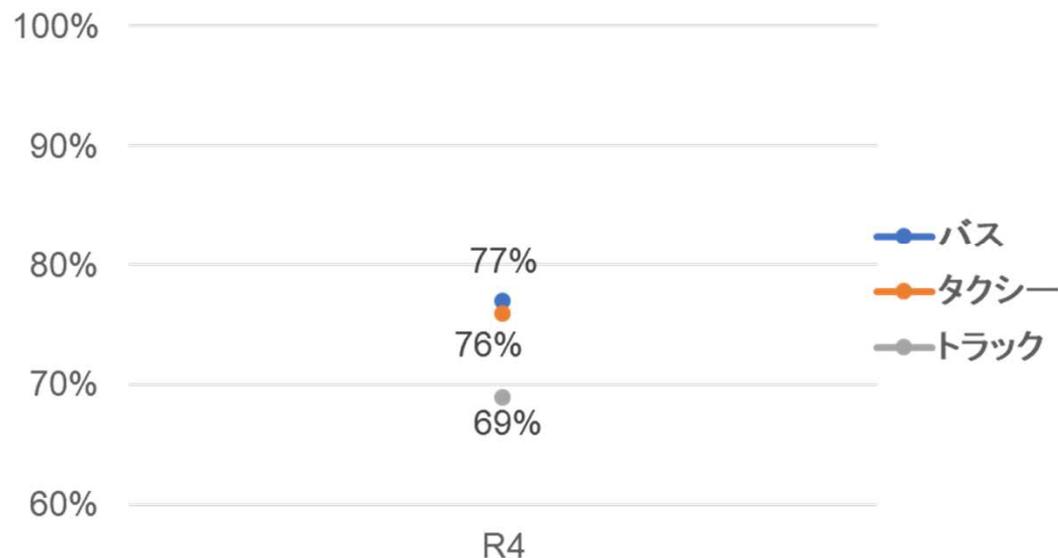


(スクリーニング検査を受診させていない場合)

●スクリーニング検査の必要性を感じている

※令和4年度より設問を追加

| | R4年度 |
|------|------|
| バス | 77% |
| タクシー | 76% |
| トラック | 69% |



7. 各種スクリーニング検査を受診させていない理由(上位3項目)

| 種類 | バス | タクシー | トラック |
|--------------------|--|--|--|
| SAS スクリーニング検査 | <ol style="list-style-type: none"> 1. スクリーニング検査費用が高額 2. 精密検査費用が高額 3. 人員配置上、受診させる余裕がない | <ol style="list-style-type: none"> 1. スクリーニング検査費用が高額 2. 精密検査費用が高額 3. 人員配置上、受診させる余裕がない | <ol style="list-style-type: none"> 1. 人員配置上、受診させる余裕がない 2. スクリーニング検査費用が高額 3. SAS起因事故が過去にない |
| 脳血管疾患 スクリーニング検査 | | | <ol style="list-style-type: none"> 1. 人員配置上、受診させる余裕がない 2. スクリーニング検査費用が高額 3. 精密検査費用が高額 |
| 心疾患 スクリーニング検査 | <ol style="list-style-type: none"> 1. スクリーニング検査費用が高額 2. 精密検査費用が高額 3. 導入予定だが、まだ受診に至っていない | | <ol style="list-style-type: none"> 1. 人員配置上、受診させる余裕がない 2. 精密検査費用が高額 3. スクリーニング検査費用が高額 |
| 視野障害 スクリーニング検査 | <ol style="list-style-type: none"> 1. 導入予定だが、まだ受診に至っていない 2. スクリーニング検査費用が高額 3. 精密検査費用が高額 | | |

(上記以外の項目) ・受診施設が近くにない ・運転者が受診してくれない ・疾病に起因する事故が過去にない ・所見が出た際の対応方法が分からない ・その他

8. アンケート調査結果のまとめ

【マニュアル・ガイドラインについて】

- 視野障害以外の各マニュアル・ガイドラインの認知度は、8割を超えている。
- 視野障害対策マニュアルの認知度は、バスで8割を超えている。

【SAS】

- 受診率は、バスで7割に達している。
- 必要性の認識は、全モードで約9割に達している。

【脳血管疾患】

- 受診率は、バスで約5割に達している。
- 必要性の認識は、全モードで8割を超えている。

【心臓疾患・大血管疾患】

- 受診率は、年々増加していたが、令和3年度からやや減少傾向に転じた。
- 必要性の認識は、全モードで約8割に達している。

【視野障害】

- 受診率は、全モードで約1割である。
- 必要性の認識は、全モードで約7割に達している。

【共通】

- スクリーニング検査・精密検査費用負担及び人員配置の余裕がないことで受診に至っていないケースが多い。